

学校通信  
**古 里**  
 第 172 号  
 平成 23 年 5 月 18 日  
 発行  
 宇都宮市中岡本町 3130  
 TEL 673-1815  
 FAX 673-9352

### 「本年度の出発にあたり」

校長 鎌田耕介

本校に着任して二年目を迎えました。3月11日の大震災は、忘れられない悲しい日となりました。二ヶ月を過ぎた今も様々な痛みを抱えていらつしやる方が多いと思います。

本校も被災しましたが、東北地方の学校を思いますと、授業や学校行事、そして部活動等も通常通り行えることを、ありがたいと感じています。

さて、新年度においては、子どもたちのためにさらに元気で活力のある学校づくりに努めたいと考えておりますので、今後とも、本校教育へのご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

### 学校経営の理念

なお、次に掲げた「学校経営の理念」と「教育目標」は、昨年と同様です。教育の根本は揺るぎのない不易のものと考えています。

#### 1 信頼と絆

この信頼と絆無くして真の教育は成り立たないと考えています。子ども・保護者・地域・仲間との信頼関係と絆です。

#### 2 愛する心

生徒を愛する。学校を愛する。仲間を愛する。仕事を愛する。学びを愛する。自然を愛する。家族を愛する。保護者・地域を愛する。自分を愛する。・・・

#### 3 生徒が主体

考え方はシンプルな方がいいのです。生徒のために真剣になるということが基本です。生徒のためになるのか否か。学校組織として前進できるか否か。

生徒が主体ということは、決して生徒を自由奔放にしろということではありません。学校は集団生活の場ですから、社会生活を営むうえで大切な多くの事柄も学ばせます。時には厳しく説諭することもあるでしょう。生徒のために真剣になることが重要だと考えます。

家庭と学校、そして地域がともに手を携えて一人ひとりの生徒に真剣に向き合うとき、その教育効果は絶大になります。

### 教育目標

**青雲の志** 夢と希望を持ち、その実現に向けて自己を高めようとする強い意志

**友垣の和** 正義感・連帯感を大切に  
し、友達のために尽くそうとする心と行為

**冴えた知性** 学んだことを最大限に活かし、よりよい社会の創造に貢献する能力

学校経営の方針

- 1 生徒・教師ともに常に向上心を持って様々なことを学び続け、意欲的に活動する学校づくり
- 2 生徒が生き生きと躍動する学校づくり
- 3 教職員が絆を深め、互いに磨きあい、組織として全校体制で教育活動ができる学校づくり
- 4 授業とともに、学校行事や部活動等にも、教師・生徒が意欲的に活動する学校づくり
- 5 清潔で美しく、また利便性のある学習環境が整うとともに、生徒の作品がたくさん飾られている学校づくり
- 6 生徒・保護者・地域から信頼される学校づくり
- 7 多くの方から支援され、愛される学校づくり

本年度の学校経営における努力点

- 1 わかる授業の展開  
(確かな学力を身に付けさせるための工夫)
- 2 特別支援教育の推進  
(個々の要支援生徒に対応できる支援教育の工夫)
- 3 小中一貫教育の推進  
(完全実施に向けた事前準備の推進)
- 4 開かれた学校づくり  
(地域協議会の活性化とボランティア導入の推進)
- 5 自主学習習慣の定着  
(家庭学習も含めた学習習慣定着の工夫)
- 6 積極的な生徒指導  
(規範意識の定着と事前指導の工夫)
- 7 校内研修の推進

学校を開く

(教職員の「学びあい」にかかわる研修、その他啓発研修の推進)

- 1 本校では計画的な授業参観日を行っています。事前にご連絡いただければ、いつでも授業等を公開します。部活動なども見学ください。保護者以外の方にも公開します。
- 2 保護者や地域の方、そしてボランティアの方など、本校に関わっていただく皆様の居場所「地域交流室」があります。  
この「地域交流室」で、様々な方が情報を交換しながら会話を楽しんだり、学校支援の拠点にしたり、また生涯学習の学びの場としても、ご利用いただいています。
- 3 保護者の皆様には、本紙(年間5回発行)の他に、学級便り・学年便り、その他多くの便りがご家庭に届くと思います。  
各種の情報を確認するとともに、各紙面から執筆者の願いや思いも感じただけければ幸いです。

主な行事日程

- 4月8日(金) 1学期始業式
- 4月11日(月) 入学式
- 4月23日(土) PTA総会、保護者会
- 5月6日(金)～8日(日) 部活動宇河春季大会
- 5月30日(月) 市教育委員会総合訪問
- 6月3日(金)～5日(日) 部活動春季県大会
- 6月9日(木)～11日(土) 修学旅行(3年)
- 6月20日(月)～24日(金) 宮つ子チャレンジ(2年)
- 7月16日(土)～18日(日)・21日(木)～23日(土) 部活動宇河総体
- 7月21日(木)～8月24日(水) 夏季休業
- 7月21日(木)～ 家庭訪問
- 7月28日(木)～30日(土) 部活動県総体
- 8月21日(日) PTA親子奉仕作業
- 9月3日(土) 運動会
- 9月30日(金)～10月2日(日) 部活動宇河新人大会
- 10月7日(金) 1学期終業式
- 10月11日(火)・12日(水) 学期間休業日
- 10月13日(木) 2学期始業式

- 10月14日(金)～10月15日(土) 部活動県新人大会
- 10月28日(金) 文化祭・合唱コンクール
- 11月7日(月)～11月11日(金) オープンスクール・個人懇談
- 11月15日(火)～11月17日(木) 冒険活動(1年)
- 11月29日(火) マラソン大会
- 12月15日(木) 新入生保護者説明会
- 12月23日(金)～1月9日(月) 冬季休業
- 2月3日(金)～4日(土) 立志式・スキー教室(2年)
- 3月7日(水) 県立高校学力検査
- 3月8日(木) 県立高校面接
- 3月12日(月) 卒業式
- 3月13日(火) 県立高校合格発表
- 3月23日(金) 修了式

一学期始業式講話

左記は、入学式直前の4月8日(金)、本年度一学期始業式で在校生に話した内容です。

今日から平成23年度、新しい学年です。進級おめでとう。大震災が起こって、まもなく一ヶ月

が経とうとしています。皆さんの家やご親戚には、被害の大きかった方もあるでしょう。本当に大変だったことと思います。昨年度の修了式に話したとおり、めげず・くじけず踏ん張りながら、皆で支えあい、協力し合って前向きに歩んでほしいと思います。

この震災で、宇都宮で唯一、立ち入り禁止になった学校があります。清原中央小学校です。実は、二年前まで私が勤めた学校です。

全校児童は、現在、清原中学校で始業式をしている最中だと思います。聞くところによると、中学校まで片道7キロを歩く児童もいるそうです。この児童達も踏ん張っているのですね。さて、今日は、その小学校で言い続けたことを、話したいと思います。

キーワードは、三つ。それは、「考える」「鍛える」「思いやる」という言葉です。皆さんは、新年度にあたって目標をたてましたか。

年の初めや、学期の初め、そして今日のような学年の初めなど、それぞれの節目で、見通しをもった目標設定は、とても大切です。

私は、児童が自分で決めた目標のほかに、努力目標を課しました。

まず、「考える」ということ。

これは、本を読んだり、人の話をしつかり聞いたたり、まず、物事を落ち着いて深く考えるところです。そして、分からない時には恥ずかしがらないで聞いてみる。このことが、思いのほか自己成長の鍵となります。

次に、鍛えること。

体を鍛えると、やる気や最後まで頑張る力が出てきます。体を鍛えると、体だけでなく心も強くなって、ルールや約束も進んで守れるようになります。つまり、鍛えるというのは体と心を鍛えることです。そして、健康ではじめのある学校生活を心がけるよう促しました。

最後に 思いやることです。

知力・体力の向上は、とても重要です。しかし、それ以上に大切なことは、心をはぐくむことです。

他の人を思いやる心。

思いやりの第一歩は、あいさつです。あいさつで心が温まり、相手を思いやる心が出てきます。思いやりの心があれば、友達にいやがることを言ったりやったりしません。

また、自分が間違ったとわかったときは 素直にわびること。わびられたら許すこと。そののところも 大切なことです。

思いやる心のある人は、わがままな自分を抑えることができます。つまり、我慢する力・踏ん張り力のある人です。このように 相手のことを考えられる思いやりのある人になってほしいと言いました。

最後になりますが、月曜日、1年生が入学します。どうぞ、先輩として思いやりの心で迎え入れ、優しく声をかけて、新入生を助けてあげてください。

### 古里地域学校園小中一貫教育

皆様ご承知のとおり、平成24年度より宇都宮市全域で小中一貫教育が完全実施となります。

古里中学校区では、本年度を準備期として、地区内の小中学校(白沢小・岡本北小・古里中)が合同で会議や研修をもちます。

まず、8月24日(水)、古里中学校にて本地区小中学校全職員による研修を行います。

当日は全体研修の他、全教職員を4部会(学力向上、学校生活支援、体力増強・食育推進、交流促進)のいずれかに配置し、部会別研修も行います。そこで、本地区で可能な小中一貫教育の取り組みを検討していきます。方向性が決まりましたら皆様にお知らせいたします。

なお、昨年度、地区内各校長と協議し、古里地域学校園経営方針を次のように示すこととしました。

### 経営方針

夢や目標をもち、その実現に向けて、よく考え、自ら鍛え、思いやる心を磨きながら、生きる力を身に付ける児童生徒の育成

### 趣旨

児童生徒一人ひとりに、将来の夢や希望をもたせるとともに、「学ぶこと」、「そして「心豊かにたくましく生きること」を自覚させ、社会的自立を目指す教育に小中が一貫して取り組む。

### 新聞協会「ハッピー・ニュース」特別賞受賞

日本新聞協会が募集していた「ハッピー・ニュース2010」キャンペーンで、本校が特別賞に選ばれました。

本年度のチーム古里

よろしくお願いいたします。

このキャンペーンは「新聞で見つけた幸せな記事」と「自分がその記事で幸せになった理由」を寄せるもので、全国から1万5千件を超える応募がありました。本校からは265人が応募し、それにより100件を超える応募ということで、特別賞受賞に該当しました。

教務主任 (戸部)



校長 (鎌田) 学年外 (通称四学年)



図書館司書 (尾藤)



副校長 (小森)



事務長 (六本木)



養護教諭 (亀和田)



一学年 主任 (野澤)



ALT ダニエル・アグヌー

学校栄養士 (千羽)



学校業務 (大関)



一組担任 (芳賀)



(亀井)

メンタルサポーター

二組担任 (小嶋)



四組担任 (秋場)



二学年 主任 (村井)



かがやきルーム 指導員 (林)

一組担任 (今田)



副担任 (増渕)

三組担任 (布村)





三学年  
主任 (和氣)



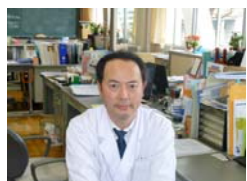
特別支援学級担任  
(松尾)



四組担任 (加藤)



二組担任 (松岡)



一組担任 (宇賀神)



副担任 (笹栗)



三組担任 (田崎)

- ① 入江尚樹 数学 (本校勤務 6 年)
- ② 三浦光崇 英語 (同 7 年)
- ③ 小松純子 国語 (同 3 年)

【転出者】  
教職員の転出入



副担任 (庄子)



四組担任 (大淵)



二組担任 (中村)



学年外 (中島)  
スクール・カウンセラー



副担任 (大塚)



三組担任 (石川)

- ④ 布村貴史 数学
- ⑤ 増渕亜弥 英語指導助手
- ⑥ 庄子千春 保体 新規採用
- ⑦ 林 重正 宇都宮市立豊郷中より  
かがやきルーム指導員
- ⑧ 亀井ゆかり 宇都宮市立陽東中より  
メンタルサポーター  
新規採用

- ① 戸部義則 国語
- ② 秋場拓也 数学
- ③ 大塚宗一郎 国語
- ④ 大島里美 国語 (同 4 年)
- ⑤ 山崎育子 宇都宮市立瑞穂台小へ  
保体 (同 1 年)
- ⑥ 奥田美香 英語指導助手 (同 4 年)
- ⑦ 池田衣公子 宇都宮市立陽南中へ  
メンタルサポーター (同 4 年)
- ⑧ 佐藤 力 退職  
学校業務 (同 3 か月)

- 【転入者】
- ① 戸部義則 国語
- ② 秋場拓也 数学
- ③ 大塚宗一郎 国語
- ④ 大島里美 国語 (同 4 年)
- ⑤ 山崎育子 宇都宮市立瑞穂台小へ  
保体 (同 1 年)
- ⑥ 奥田美香 英語指導助手 (同 4 年)
- ⑦ 池田衣公子 宇都宮市立陽南中へ  
メンタルサポーター (同 4 年)
- ⑧ 佐藤 力 退職  
学校業務 (同 3 か月)

のざわ特別支援学校へ

新PTA役員

- 会長 大熊のぞみ
  - 副会長 増淵良信
  - 副会長 三村尚美
  - 副会長 谷内直子
  - 副会長 小森一則 (副校長)
  - 監事 平賀貴子
  - 監事 堀内佳代子
  - 会計 加藤 恩
  - 会計 六本木雅弘 (事務長)
  - 書記 増子雅子
  - 書記 戸部義則 (教諭)
- 退任された舟越前会長、杉浦並びに高橋前副会長、そして永井前監事のこれまでのPTA活動へのご尽力に深く感謝いたします。誠にありがとうございます。

新PTA会長あいさつ

大熊のぞみ

新年度を迎え、子どもも最高学年になり同時に私もPTA会長を引き受けることとなりました。多大な重圧もありますが、私なりに学校と協力して思

転退職者のメッセージ

入江 尚樹

春期真っ只中の子ども育成に当たっていき事や、生徒たちが古里中学校に通ってよかったという思い出を持てるように影ながらがんばりたいと思いません。  
PTA活動は、会員の方も、それぞれ忙しい家庭や仕事等の事情もあるかとは思いますが、互いに手分けをしたり補い合ったりしながら、前向きに進めていけたらと願っていますので、どうぞよろしくお願いいたします。

今回の古里中学校勤務は二回目でした。一回目は、初任で十二年間。その当時の自分としては、やれることをとことんやり尽したという感じでした。完全燃焼でした。二回目の勤務が決まったとき、「完全燃焼してしまった学校で、自分は何ができるのか」と考えたとき、多少不安もありました。しかし、終わってみると、今回も「やったぜ」という充実感がありました。もし、回りまわって、教員生活の最後を古里中学校で迎えることができれば感無量で

す。六年間、ありがとうございました。

三浦 光崇

七年間、大変お世話になりました。

古里中では、自分の思いつくまま、様々なことに挑戦させていただきました。その過程の中で、失敗や成功を繰り返しながら、これからの教師人生を送っていく上で、非常に大切なものを数多く学ばせていただきました。それらは、現任校でも少なからず役に立っていると感じています。これも偏りに、古里中の生徒・保護者の皆様方の支えがあったからに他なりません。本当に感謝しております。ありがとうございました。

小松 純子

この度は、交流研修で一年間、特別支援学校に行くことになりました。古里中学校では、私が教職を目指そうとするきっかけになった恩師と共に勤務することができるといふ幸せに恵まれ、また、素晴らしい先生方にご指導いただき、学ぶことが多い日々でした。心から感謝しています。  
特別支援学校では、今まで気付かなかった切り口から物事を見る経験をさ

せていただいています。そのような中から多くを学び、これからの教育活動に少しでも活かせるように研修に励んできたと思います。

大島 里美

古里中で過ごした四年間は、あつという間に過ぎてしまいました。それくらい毎日が慌ただしくも充実していて、私にとってかけがえのない日々でした。

古里中を離れることはとても寂しく、新しい環境に戸惑いも感じますが、それでも新しい出会いを大切にし、より大きく成長したいと思っています。四年間古里中で出会った生徒たち、保護者の皆様、先生方から学んだことを忘れず、前に進んでいきたいです。

四年間ありがとうございました。

山崎 育子

一年間でしたが、古里中学校で、とても濃い時間をすごしました。一年生との冒険活動や焼きいも大会。体育の授業では特に創作ダンス。運動会にマラソン大会。部活動など。最後に東日本大震災。生徒たちと共に過ごしたこの時間は、いろいろな発見があり、いろいろな可能性を感じました。すばら

しい力を持つている生徒たち一人ひとりが、さらに成長することをずっと応援したいと思います。また先生方保護者の皆様いろいろありがとうございました。

奥田 美加

四年間、大変お世話になりました。1995年1月17日5時46分、阪神・淡路大震災に遭い、今年3月11日14時46分東日本大震災に遭いました。二度も大きな地震を経験しました。どちらも想像を絶する地震で、十六年前は主人の祖母も命を落としました。

今回の地震で、生徒もいろいろ思うところがあったと思います。その思いを忘れず、周りにいる家族、先生、友人、お世話になった人たちに感謝して、今ある命を大切に、精一杯生きていてほしいと思います。

四年間、本当にありがとうございました。

前PTA会長 舟越 正好

一年間ありがとうございました。皆様の役に立とうと思ひ会長職を引き受けましたが、何もできませんでした。

それでもPTA役員、会員の皆様のご助言・ご協力を頂き務めを終えるこ

とができました。ボランティア活動の輪も少しずつ広がりを見せています。(コーディネーターの堀さんの努力があつたからです。)

本当に皆様のご理解とご協力に感謝いたします。ありがとうございました。これからもPTA活動や学校行事へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

### 入学式(4月11日)



例年は、ステージ上に新入生を配置しました。しかし、震災によりステージが使用できなくなったため、体育館フロアに段を移して入学式を行いました。